

### 第3回 札幌開発建設部遊水地事業監理委員会 議事要旨

【開催日時】 平成22年8月5日（木） 10:30～11:45

【開催場所】 札幌開発建設部 4階1号会議室

【委員】 内田 和男（北海道武蔵女子短期大学 学長）

◎加賀屋 誠一（北海道大学大学院工学研究院 教授）

黒木 幹男（(財)河川環境管理財団 北海道事務所 北海道研究所長）

秀島 好昭（寒地土木研究所 寒地農業基盤研究グループ長）

※◎は、委員長（50音順） ※許士委員は欠席

#### 【議題】

##### 1. 審議事項

- (1) 工程管理について
- (2) 事業費管理について

##### 2. 総評

#### 【議事要旨（委員会意見）】

##### 《工程管理について》

- ・ 補償施設が工程上のクリティカルとなっても、平行して遊水地の掘削を行うことで、出水に対して効果を発現できる進め方が必要。
- ・ 盛土の圧密など想定どおりにいかない可能性もあるが、その場合、予算も含め柔軟に工程を組み換えて、工期を守る努力が必要。

##### 《事業費管理について》

- ・ 今後、事業費の中で占める割合が高い工種をいかにコスト縮減できるかがポイントとなる。また、これら工種のコストの増減については、より分かりやすい説明が必要。
- ・ 越流堤は、遊水地の機能の要であるため、技術的に必要な構造を確保した上でコスト縮減を図るようには必要がある。
- ・ コストの増減は、一般的な事例と比較して整理すると判りやすい。

##### 《関連する留意すべき事項》

- ・ 工事中の遊水地を活用した浸水被害の軽減の取組について、当該地域だけでなく、全国・全道に広くPRして事業の理解を深めてもらうことは、遅れている千歳川流域の治水対策を進める上で重要である。
- ・ 千歳川の遊水地整備によって内水被害の軽減に寄与する効果について、一般の方に判りやすく説明することも重要である。
- ・ 施設条件から想定される遊水地の姿のイメージを地域に示し、利活用を検討していくことが重要である。
- ・ 広大な遊水地の維持管理にはコストがかかるので、民の力も借りるなど工夫が必要。
- ・ 事業監理を行う上で、当該年度の改善点が次年度にどのように反映されているかわかる必要がある。

以上